

一級河川新方川 東武鉄道橋梁架換え事業

工事の概要

位置図



■事業期間

令和元年度 ~ 令和4年度

■事業目的

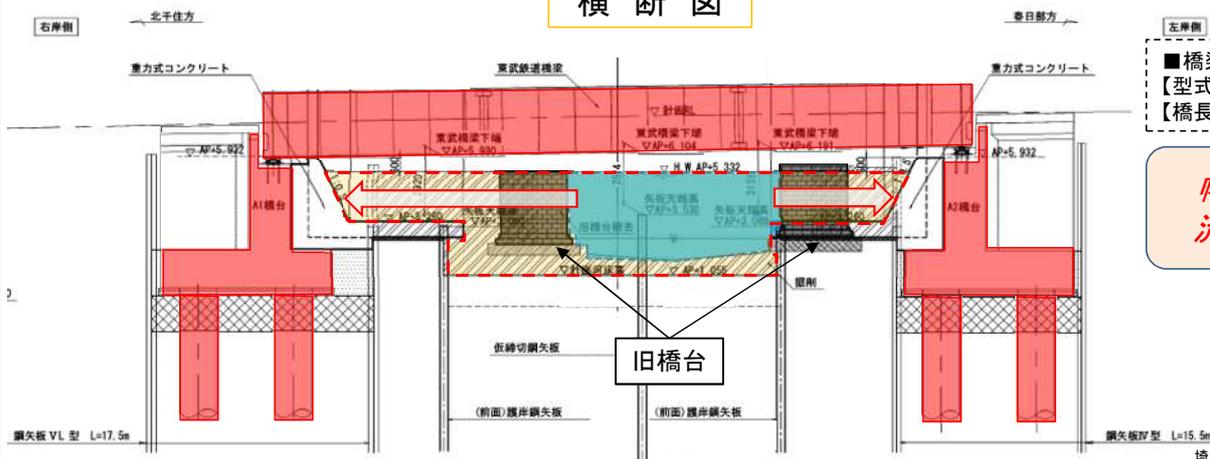
洪水による災害の軽減を目的として、東武鉄道橋梁の架換えなどを行うことで、断面を拡幅し、流下能力の向上を図りました。

■東武鉄道橋梁の架換え

新方川に架かる東武鉄道橋梁は、断面が狭く流下能力が不足していたことから、架換えが必要でした。

架換えにあたっては、列車の運行に影響を及ぼすことのないよう、終電から始発の数時間で架換え工事を完了させなければならないため、**綿密な工程管理と迅速な作業**が求められました。

横断図



■橋梁諸元

【型式】複線2主桁下路プレートガーダー

【橋長】29.6m

幅2.7倍に拡大！
流量4倍に拡大！



桁横取り架設工法とは・・・

あらかじめ古い橋の横で組み上げておいた新しい橋を横滑りにより入れ替える工法で、制約条件の多い場所で用いられます。



架換後

架換中



架換前

